

令和3年度佐渡ジオパーク推進協議会通常総会議事録

1 日時 令和3年5月25日(火) 13:30～15:00

2 場所 佐渡市役所 3階 大会議室

3 出席委員

顧問	佐藤久雄(県会議員)
同	中川隆一(県会議員)
同	渡邊剛忠(有識者)
アドバイザー	澤栗浩明(環境省佐渡自然保護官事務所首席自然保護官)
会長	渡辺竜五(市長)
副会長	新発田靖(教育長)
同	樺澤尚(新潟県佐渡地域振興局長)
(代理)	木村富美雄(佐渡連合商工会)
	加藤透(佐渡観光交流機構常務理事)
	村山優樹(新潟交通佐渡㈱代表取締役専務)
	尾崎弘明(佐渡汽船本社代表取締役社長)
	松岡篤(有識者) 【オンライン参加】
	藤林紀枝(有識者) 【オンライン参加】
	中川清太郎(有識者)
	本間東三夫(佐渡観光旅館連盟)
	坂本和雅(佐渡青年会議所理事長)
(代理)	本間満(佐渡ジオパークガイド協会)
(代理)	中川哲昌(佐渡を世界遺産にする会)
	大石惣一郎(佐渡棚田協議会会長)
	猪股雄司(佐渡市企画課長)
	下谷徹(佐渡市世界遺産推進課長)
	濱崎賢一(佐渡市教育委員会佐渡学センター長)

4 欠席委員

会員	大鳥範和(新潟大学理学部長) 委任状
	安東宏徳(新潟大学佐渡自然共生科学センター臨海実験所長) 委任状
	永田尚志(新潟大学佐渡自然共生科学センター長)
	永井充(JA 佐渡経営管理委員会会長) 委任状
	本間皓(JA 羽茂代表理事組合長) 委任状
	市橋弘之(佐渡トレッキング協議会事務局長) 委任状
	中道康夫(佐渡山岳会会長) 委任状
	寺尾和弥(佐渡漁業協同組合代表理事組合長) 委任状
	中川良明(佐渡森林組合代表理事組合長) 委任状

5 事務局

市橋秀紀（事務局長）

伊藤智子

本間克彦

関根吉則

貞包健良

6 審議結果・質疑

議 事

（１）令和２年度 事業報告について

結果：承認

（２）令和２年度 決算報告及び監査報告について

結果：承認

（３）令和３年度 予算（案）について

結果：承認

（４）役員改選について

結果：承認

（議事内容要約／質疑応答）

1 渡辺会長あいさつ

2 総会成立の報告

会員数 27 名、出席者数 18 名、委任状提出 8 名、合計 26 名。

過半数に達しているので、協議会設置要綱第 12 条第 4 項の規定により総会成立。

3 議事

（１）議案第 1 号 令和２年度 事業報告（資料No.1、1－1、1－2、1－3）

日本ジオパーク委員会からの指摘事項に対する、アクションプランにおける取組み及びその他のジオパーク推進に関する取組みについて、スライド並びに配布資料により説明。

配布資料 1－1 により、指摘事項「ジオサイトの整理と再設定」に対する取組みとして、調査研究部会で協議し、島内 10 エリアの見どころについてサイト設定がひと通り完了したことを説明。

指摘事項「ジオサイトの整理と再設定」に対する取組みとして、コロナ禍において地域説明会が行えない代わりに、CNS テレビを活用して「ぶら～り ジオパークだっちゃ！」という番組を製作・放映。「You Tube」にもアップロードし、地域の活用ジオサイトの特徴や価値を伝えたことを説明。

配布資料 1－2 により、指摘事項「専門的すぎる看板や冊子媒体類の改善」に対する取組みとして、広報部会で「看板の分類や役割に関するガイドライン」を協議・改訂し、二次元バーコードを貼付された看板の盤面に変更し、「盤面の変更等の管理費用の削減」「多言語に対応」「景観に配慮し、看板の乱立を防ぐ」「来訪者数を把握」できる等のメリットが生まれたことを説明。

配布資料 1－3 により、指摘事項「ジオツーリズムの充実とマーケティング分析に関すること」に対する取組みとして、マーケティング調査で「食」を取り入れると満足度がアップする傾向にあるという結果から、事業部会で「佐渡ジオパーク食」の認定基準を制定し、食材・加工品 15 品目と食品 3 品目の認定を行ったことについて説明。

指摘事項「ストーリーの再構築」に対する取組みとして、佐渡島の成り立ちや佐渡ジオパークのストーリーを映像化した『佐渡ジオパークオリジナル映像』を制作したことを説明し、その 15 分程の映像を視聴。

【質疑応答】

○会長：情報のデジタル化は、看板の乱立と言う観点からも、大きな看板を現地で読むのではなく、小さな看板で情報はスマホから得るという方向に向かっていくと思う。逆に言うと、船の中でもここに行きたいという情報がお客様にお伝えできるみたいな所もイノベーションの一つとして、これから考えなければいけない。その看板の戦略について何か考えているか。

○事務局：看板に二次元バーコードを貼付し、それを読み込むと、ジオパーク推進協議会のホームページとは別のサイトで、さらに詳しい情報や価値を伝えられるよう工夫している。また、他が設置した看板に二次元バーコードとジオパークのロゴマークだけを貼付し、ジオパークの情報を伝えられるようにし、看板の乱立についても調整を図っている。

○会長：ジオパークだけの話ではないため、市長として話をさせてもらった。新潟の待合室で観光全体を含めたガイドブックには載っていない面白い情報を提供して、船に乗るときはワクワクして船に乗ってくる。そしてまた船の中でも補完すると、お客様のワクワク感も増える。そういう部分を世界文化遺産も世界農業遺産もそうだが、一体的に取り組んでいかなければならないと思っている。関連機関と連携しながら対策に取り組んでいきたい。

○顧問：教育旅行のモデルコース 4 コースのテキストを作成し、うち 2 コースのジオパークガイドへのガイド案内研修を行ったということだが、コロナ禍で昨年、教育旅行は何校くらい来たのか。

○事務局：資料を持ち合わせていない。ただ、佐渡観光交流機構の方でも新潟県内はもちろん、県外に対しても誘致に力を入れている。今まで関東や関西の方に修学旅行に行っていた学校が、コロナの関係で佐渡なら安全と考え、何校も佐渡に流れてきている。教育旅行に更に力を入れていきたい。

(2) 議案第 2 号 令和 2 年度 決算報告及び監査報告（資料No.2）

収入決算額 13,997,862 円、支出決算額 13,626,106 円、差引残額 371,756 円を翌年度に繰り越す。

監査報告：坂本監事から監査報告書により報告。

【質疑応答】

○会長：『佐渡ジオパークオリジナル映像』は、「ジオ・ジャパン」の映像も入っていたと思うが、昨年その映像をどのくらい活用したのか。

○事務局：令和 3 年の 3 月末に完成したもの。4 月から活用し始めた。学校の理科主任会、小・中学校、幼稚園の先生方や校長先生に説明し、学校に貸し出し等をして主に教育活動に活用している。

○会長：NHK の良い映像をかなり入れてある。糸魚川ジオパークでも、ミュージアムへ行くと糸魚川ジオパークの成り立ち、火山の成り立ちが分かりやすい良い映像がある。この素晴らしい映像を積極的に活用して欲しい。

(3) 議案第3号 令和3年度 予算(案)(資料No.3)

令和3年3月25日の臨時総会において既に承認済み。令和2年度からの繰越額が確定したため、繰越金の補正を提案するもの。臨時総会では、収入の繰越金を300千円としていたが371千円とし、支出には差額の71千円を予備費に計上し、今後の事業費に充当していく。

【質疑応答】 特になし

(4) 議案第4号 役員改選(資料No.4)

会長、副会長、運営委員並びに監事の任期が、本年5月末で満了となる。役員は総会で選出することとなっている。選出方法を諮ったところ、事務局一任との意見があり、予め用意した事務局案を提案した。

【質疑応答】 特になし

4 その他

○顧問：佐渡ジオパークは世界ジオパークを目指すのか。どういう条件が整ったら目指すのかをご説明いただきたい。佐渡金山の世界遺産登録の国内推薦が最有力候補になっている。GIAHSと世界文化遺産、そして世界ジオパークの三つの世界的な遺産となり、宝の島だということを世界に向かって宣言できる。世界ジオパークを目指すのであれば、その道のりを今から明確にしておいた方が良いのではないかと考える。

○事務局長：佐渡の人でさえジオパークを知らない部分があるので、佐渡の人にも教育旅行などで島外から来た人にも、まずは佐渡のことを知ってもらう。そして市民の皆さんの機運が盛り上がった段階で世界を目指すかどうかを考えるべきだと思っている。今後協議会で考えていきたいので、ご協力ください。

○顧問：目標がないと中々世界を目指すといっても、具体性がないと思う。将来展望としてどの様に捉えているか。

○会長：糸魚川は世界に通ずるフォッサマグナという一つの分かり易いポイントがある。世界に挑戦する所は非常に分かり易い一つの明確な指針がある。ジオパーク委員会とも、日本海の形成が佐渡で分かるという所をもう少ししっかり磨き上げ、世界にもっとアピールできる分かり易い仕組み、これが世界に挑戦するには必要であろうという議論をした。イエローを脱したばかりなので、その磨き上げをしっかりして取り組んでいくことが必要と考えている。

5 樺澤副会長あいさつ

終了